

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 : 一般社団法人ブレインインパクト×パナソニックホールディングス株式会社プロダクト解析センター

企業 URL : <https://holdings.panasonic.jp/> (ハイパーリンクを挿入しておいてください)

※ A4 2面（裏表）一枚に、1機種の情報が入るよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 居室 トイレ 個室 個室脱衣所 特殊浴槽 特殊浴槽脱衣所
食堂 多目的ホール（共有リビングスペース） 看護・介護ステーション リハビリ室
会議室 事務室 送迎車 その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに1つに○をつけてください

- 見守り支援 移乗支援 移動支援 入浴支援 排泄支援 食事支援
リハビリ支援 介護記録等 介護業務支援 居室環境等管理支援 ヘルスケア
その他（健康管理 ）

3 製品／サービスの特徴

介護施設利用者	に対し、	脳の健康状態を可視化し、脳の健康維持・向上に向けた行動を促進	することができる
---------	------	--------------------------------	----------

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者の身体的負担軽減 介護者の精神的負担軽減 介護スタッフ間の連携強化
被介護者の安全確保 被介護者のQOL向上 被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
人材育成・定着促進 周辺業務の効率化・省力化 業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名 : 顔画像からの推定 BHQ

製品／サービスの URL : (ハイパーリンクを挿入しておいてください)

製品／サービスの写真・動画 ※1機種の写真や動画 URL を載せてください



① 表示画面のイメージ



② 計測イメージ

6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

喜怒哀楽の表情から短時間で脳の健康状態（BHQ）を計測し、脳に良いコンテンツをレコメンドする装置である。これまでの計測方法は、MRI を用いて BHQ を測定していたが、MRI 検査は、利用者への高負荷、高コスト、長時間にわたる計測という課題があった。そこで Panasonic 社では、自社独自の解析評価技術を用いて、短時間、高精度、簡易に脳の健康状態を計測する装置を開発した。さらに、ただ計測するだけでは不十分なため、文献をまとめ抽出した脳に良いコンテンツを紹介することで、脳の健康維持・向上までを一貫してサポートする。 想定価格：2 台 50 万/1 日 今年度のみ無料トライアル実施中

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者（施設ケア） 介護者（在宅ケア） 被介護者（施設ケア） 被介護者（在宅ケア）
リハビリ利用者（集団） リハビリ利用者（個別） 管理者（スタッフ管理） 管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

- 想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
被介護者の状態次第にて利用可能 → 下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

介護保険制度 要介護認定

- 要支援 1、2 要介護 1 要介護 2 要介護 3 要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

- 自立 ランク J（生活自立） ランク A（準寝たきり）
ランク B（寝たきり/座位保つ） ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

- 自立 ランク I ランク II（a・b） ランク III（a・b） ランク IV ランク V

自社独自の分類

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

- 機器の前に立ち、顔の表情から BHQ を推定するため、2 分程度の直立状態を保ちながら、10 秒置き程度で自身の顔の表情を変えることができる状態であること
- 電源が必要であるため、近くにコンセントが設置されていること

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）



① 展示会出展の様子



② フィットネスクラブでの体験の様子